

問1 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。
2. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。
3. 歴史的な寺社仏閣が全国でも多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
4. 冬季の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。

問2 北海道東部の根釧台地に位置し、夏に濃霧が発生しやすい冷涼な気候を生かして大規模な酪農が行われており、農業産出額の大部分を乳用牛が占めている自治体はどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 別海町
2. 北見市
3. 新篠津村
4. 夕張市

問3 かつて農業に不向きであった石狩平野の泥炭地を、日本有数の稲作地帯へと変えるために行われた工夫や取り組みについて、正しい説明を選んでください。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 他の場所から性質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった土地改良を行った。
2. 大規模な森林伐採を行い、燃やした灰を肥料として土地に混ぜる「焼畑」を繰り返した。
3. 地力を回復させるために、農地を数年ごとに休ませる「輪作」を導入した。
4. 高台から水を引くための大規模な「ため池」を建設し、乾燥した土地に水分を供給した。

問4 北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
2. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
4. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため

問5 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何といいますか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 酪農
2. 果樹栽培
3. 稲作単一経営
4. 施設園芸

問6 北海道において、スマート農業が他地域に先駆けて積極的に推進されている理由を、土地利用の状況と社会的な背景から考察した説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため
2. 山間部が多く機械の導入が困難なため、ICTによる遠隔操作が唯一の手段であるため
3. 高齢者の割合が全国でも最も低く、新しい技術を操作できる若者が過剰に存在するため
4. 小規模な農地が密集しているため、ドローンを使わなければ肥料が隣地に飛散するため

問7 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。
2. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。
3. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。
4. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。

問8 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。（2015年 岐阜公立入試 類似）

1. 北海道
2. 京都府
3. 奈良県
4. 東京都

答え合わせ・解説

問1	答え 1 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問2	答え 1 別海町	根釧台地は寒流である親潮の影響で夏でも気温が上がりにくく、稲作や畑作が難しいため、広大な土地と牧草を利用した酪農が発達しました。選択肢の北見市は玉ねぎなどの畑作、新篠津村は石狩平野での稲作が中心であり、夕張市はメロン栽培などで知られています。
問3	答え 1 他の場所から性質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった土地改良を行った。	水分過多で栄養不足な泥炭地を農地に変えるため、排水路を作って湿地を乾かし、別の場所から運び込んだ肥沃な土を混ぜ合わせる「客土」などの土地改良が大規模に実施されました。この地道な努力の結果、石狩平野は北海道を代表する米どころとなりました。
問4	答え 1 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問5	答え 1 酪農	北海道東部の根釧台地では、夏でも気温が上がりにくい冷涼な気候を活かして、広大な土地で乳牛を育てる酪農が盛んに行われています。ここでは、大型機械を導入した大規模経営が行われており、日本全体の生乳生産において極めて重要な役割を果たしています。
問6	答え 1 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため	北海道の農業は、全国平均の約14倍という広大な耕地面積を誇りますが、従事者の高齢化と減少が進行しています。広すぎる土地を限られた人数で管理しなければならないという北海道特有の状況が、自動運転やロボットによる「省力化（労働力を節約すること）」を強く必要とさせており、スマート農業の普及を後押ししています。
問7	答え 1 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問8	答え 1 北海道	北海道は、明治時代以降の開拓という歴史的背景から、京都府や奈良県のような古都と比較して歴史的な建造物の数は少ない傾向にあります。その一方で、広大な土地と豊かな自然環境を活かした国立公園などの自然景勝地や、スキー場・キャンプ場といったレクリエーション施設が非常に多く、自然観光を中心とした独自の産業構造を持っています。